

# 「J-WAS」と総務省実証実験のご紹介

実証実験事務局(アライド・ブレインズ株式会社)  
内田 斉

# 総務省のウェブアクセシビリティへの取り組み



## 旧郵政省における取り組み

- 平成11年、郵政省・厚生省共同研究会で「アクセシブルなウェブコンテンツの作成方法に関する指針」を発表
- 平成12年度、アクセシビリティ支援システム「J-WAS(仮称)」開発

平成13年度 実証実験スタート

# アクセシビリティ・チェッカーの必要性



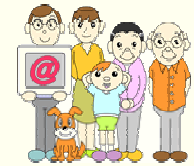
ウェブアクセシビリティは…

- 一般的なブラウザでの表示・動作とは別の問題（どこが問題か、に気づきにくい）
- 数多くの点検項目（どこから手をつければいいのか分かりにくい）

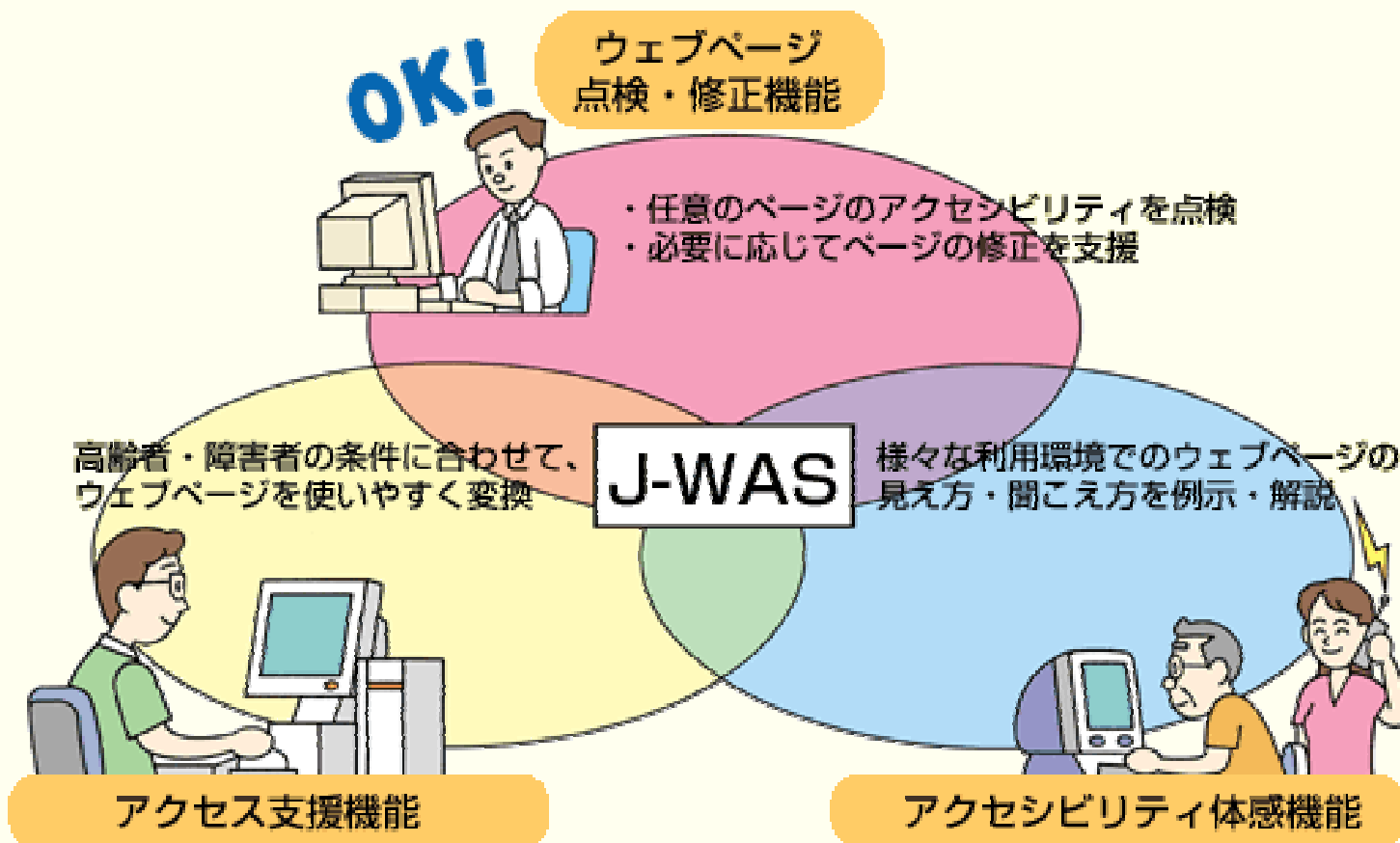
ウェブアクセシビリティ改善の足がかり  
としての点検システムが必要

チェッカーの例: Bobby、A-Prompt、i-Checkerなど

# アクセシビリティ支援システム「J-WAS」



- アクセシビリティを総合的に支援する、3つの機能を提供。



# J-WASの特徴



- 誰でも利用できる公開型システム
- ウェブアクセシビリティにおける日本語固有の問題に対応
  - 英語との表記方法の違い、略語・難語への対応、携帯ウェブへ対応など
- 点検・修正に4つのレベルを用意
  - 入門レベルである「B」を独自に用意
- 日本語で詳細な解説や修正アドバイスを表示



J-WASによる点検・修正

アクセス支援機能

アクセシビリティ体感機能

# 実証実験のねらい



- ウェブアクセシビリティの啓蒙
- 高齢者・障害者がウェブを利用する際の課題の把握
- J-WASの有用性、機能・使い勝手の評価
- アクセシビリティの高い日本語ウェブページを増やす



# 実証実験の構成

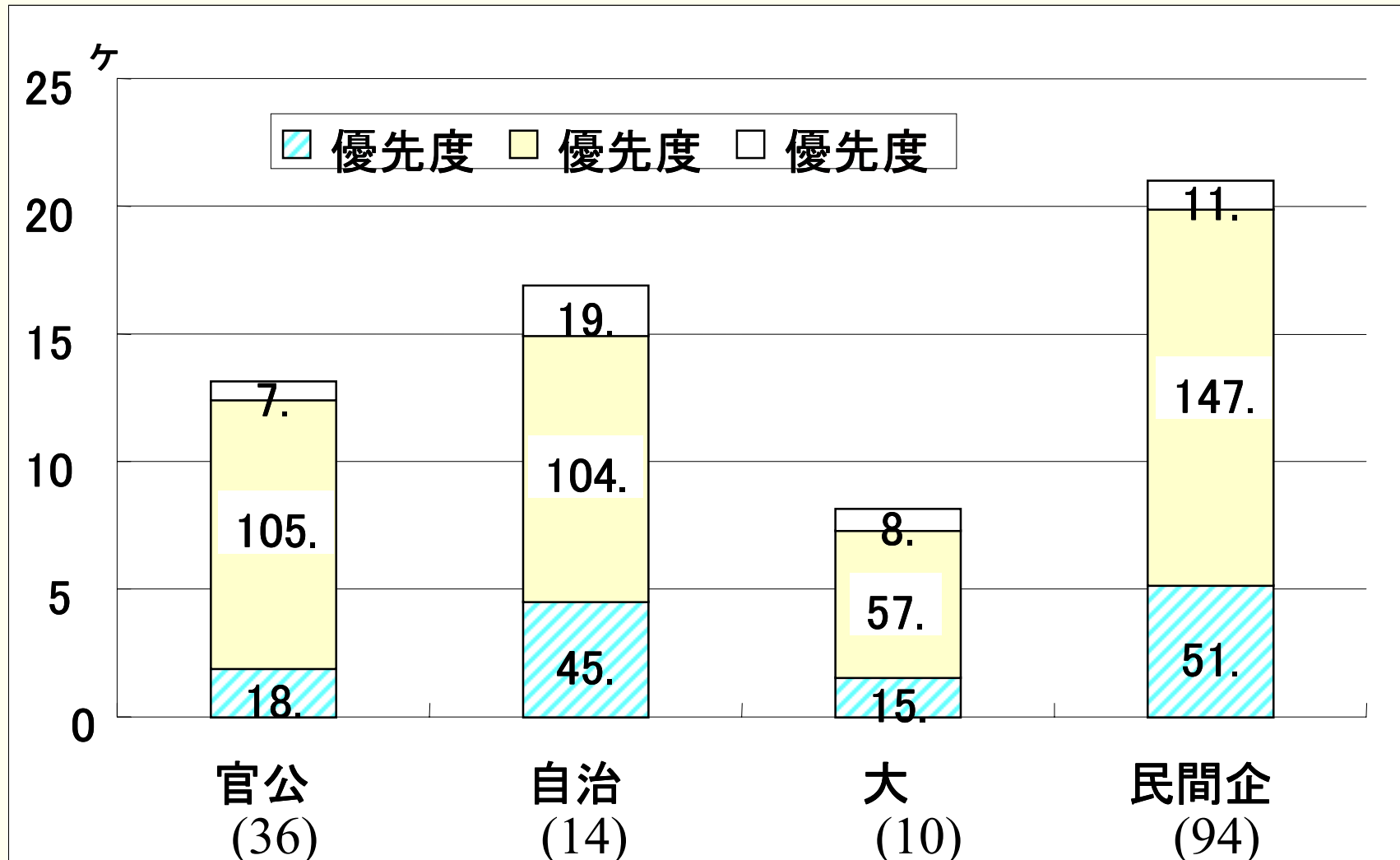
- **J-WASのインターネット公開**
  - 「みんなのウェブ」での情報提供
  - アクセシブルサイトの申告と紹介
- **講習会等の開催**
- **主要サイトのアクセシビリティ調査**
- **実験協力地域での取り組み**
  - アクセシビリティ講習会、ウェブ利用者（視覚障害者・高齢者）と提供者（地元の参加企業・団体）の交流会、アンケート調査 等



# 国内のウェブアクセシビリティの現状



- トップページには平均100ヶ所以上の問題

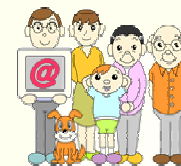




# 実証実験参加・協力団体

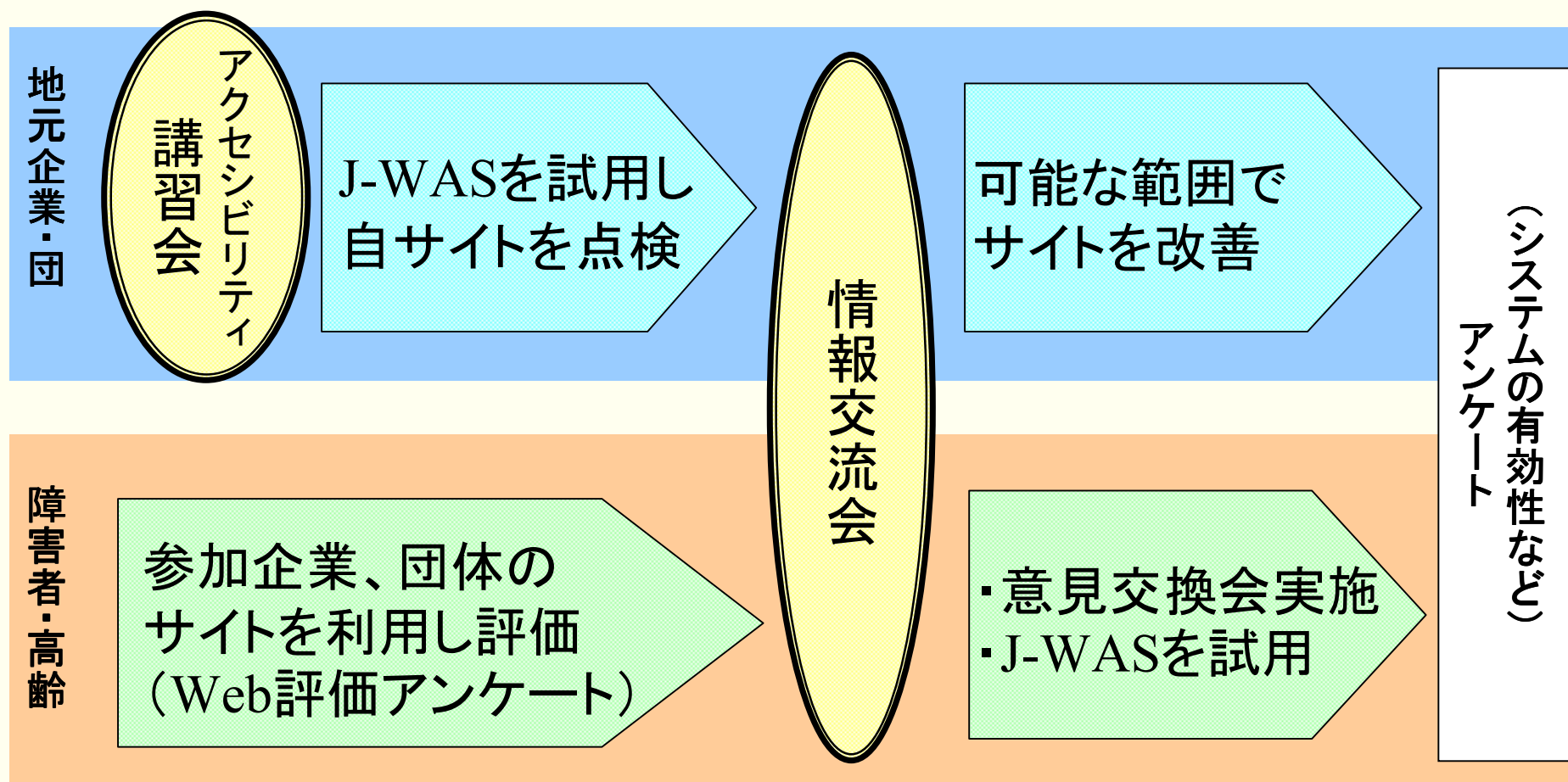
- 各実験協力地域で、ウェブ発信側と利用者（高齢者・障害者）が参加して実施

|    |  |                      |
|----|--|----------------------|
| 岡山 | 吉備松下、吉備高原医療リハビリテーションセンター、ベネッセコーポレーション、西尾総合刷、中国銀行、岡山県社会福祉協議 | 岡山県立盲学校、吉高原住民有       |
| 仙台 | コミネット仙台、仙台ソフトウェアセンター、せんだいメディアテーク、仙台市社会福祉協議                 | 仙台シニアネットクラ           |
| 福岡 | 岩田屋、井筒屋、博多井筒屋、NHK福岡、テレビ西日本、福岡送、九州朝日放送、西日本鉄                 | ウェブアクセスを考え会、シニアネット福  |
| その | (各省庁)  | 横浜市立盲学<br>View-Net神奈 |



# 実験協力地域での取り組みの流れ

- 地元自治体、企業と障害者・高齢者が意見交換しながらアクセシビリティを改善



# 講習会、情報交流会



アクセシビリティ講習会



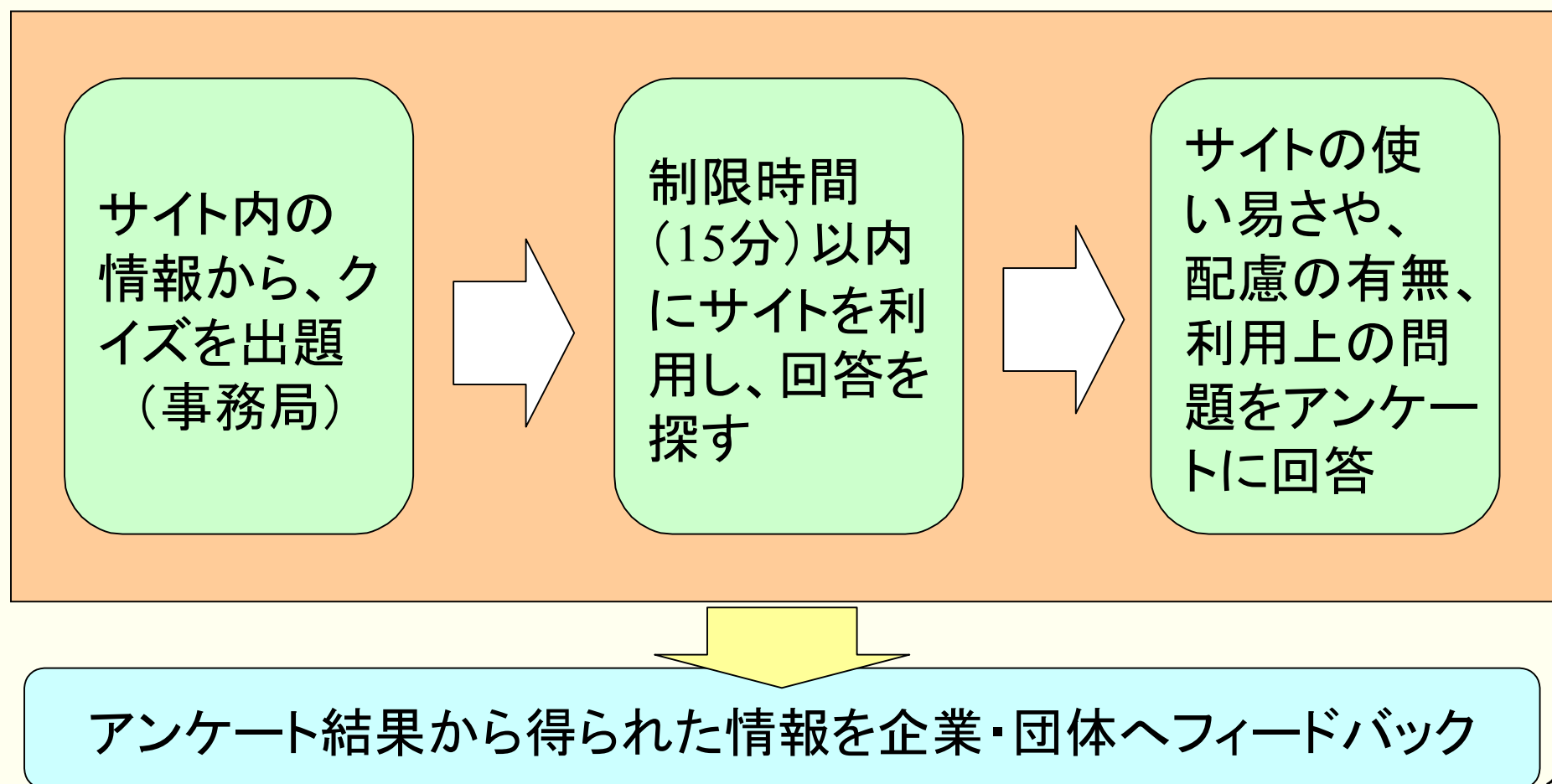
情報交流会



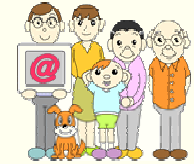


# WEB評価アンケートの実施

- ・ 障害者や高齢者が参加企業や団体のホームページを利用し、使い勝手を評価



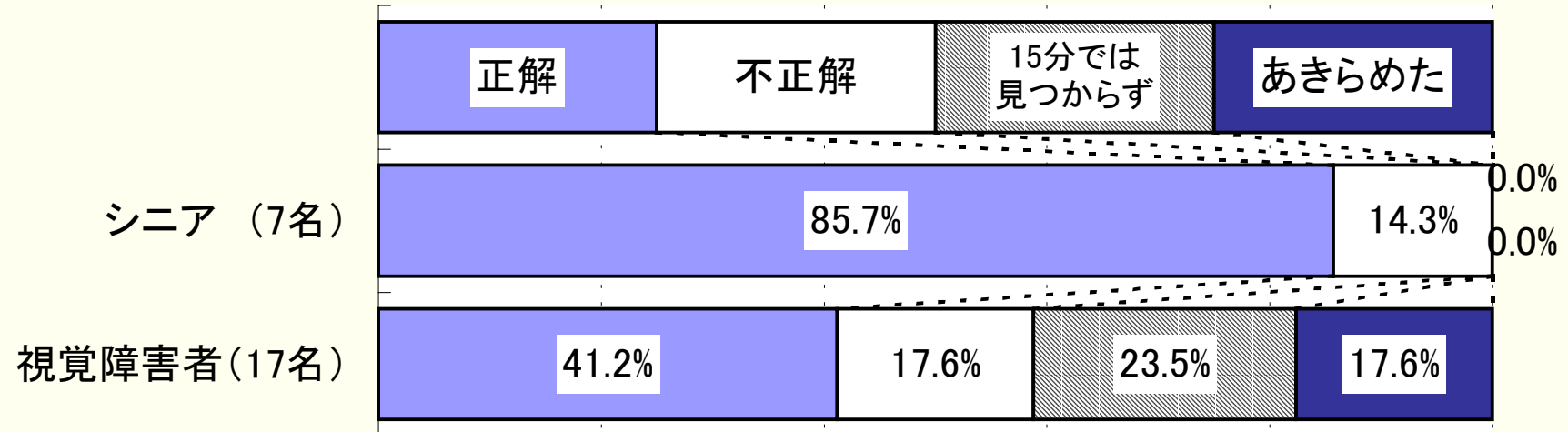
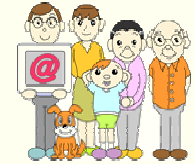
# WEB評価アンケートの例



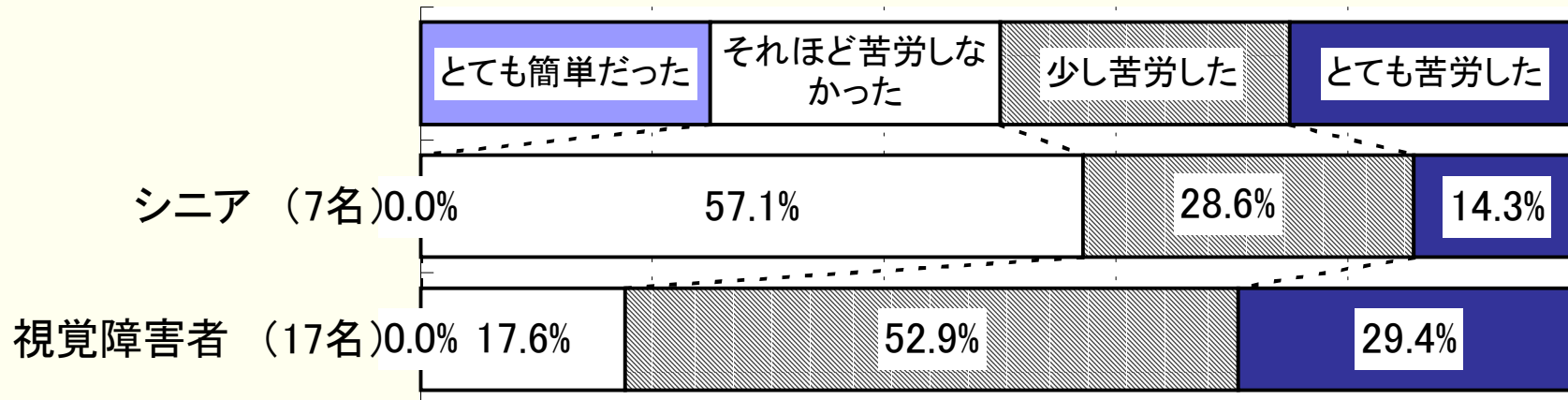
## N社ホームページからの出題

- バスの時刻について、お伺いします。
- △町四丁目のバス停から、○□駅行きのバスが出ています。
- 平日、○□駅行きの最終のバスは、△町四丁目のバス停を何時何分に発車するでしょうか？

# WEB評価アンケートの回答結果例



・視覚障害者には情報が取得しにくいことがわかる。



- ・視覚障害者にとっては、かなり苦労する作業。
- ・シニアにとっても、「簡単」ではなさそう。

# WEB評価アンケートの回答結果例



## コメント例

- 狭い範囲に情報量が多いので、見にくくなっている。ゆとりを持ったページ作りをしてほしい。【高齢者】
- 検索ページを開くたびに、同じ注意事項が読みあがられてなかなか検索結果を確認できない。【視覚障害者】
- NOFRAMES タグを試用しているが、フレーム未対応の利用者に代替手段を提示しおらず、誤った使い方ではないか。【視覚障害者】

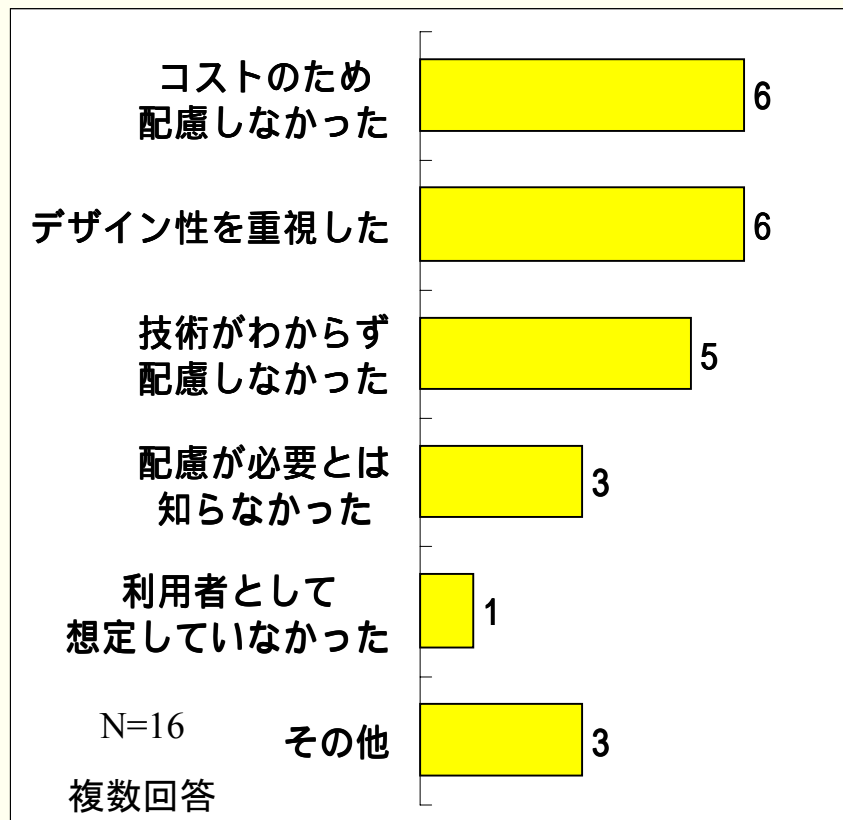


# 実証実験の成果－関係者の意識の変化



- 交流会で実際の利用状況を見聞きしたことが強いインパクトに

## ＜実験参加以前の考え＞



## ＜実験に参加した感想＞

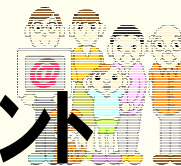
### ● 交流会参加者

- ・ 実際の利用状況を体験し、アクセシビリティの必要性を実感した。
- ・ 配慮不足を痛感。できる範囲で配慮を心がけたい。

### ● 交流会には不参加

- ・ アクセシビリティを高めるのは現実的に難しい。

# 実証実験の成果ーアクセシビリティ確保のポイント

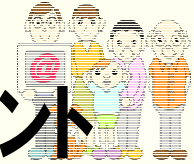


## 【視覚障害者】

基本

- 画像、PDF、FLASH等には、代替テキスト(ALT属性やテキスト等)がないと、内容がわからない。
- ナビゲーションのリンクが多すぎて、なかなか本文にたどり着けないケースが多い。
- 情報を探す時には、リンク部分だけを読む傾向がある。リンク文の表現がアクセシビリティに直結。
- データ表やプルダウンメニューの構造を理解するには相当苦勞。

# 実証実験の成果ーアクセシビリティ確保のポイント



## 【高齢者】

- 適切な情報の整理、次が想像できるボタン名、わかりやすい操作手順への配慮(=ユーザビリティ)が高齢者にとってのアクセシビリティ。
  - たくさんのサイトを調べているうちに、現在位置や履歴を見失いがち。
  - サイト内のボタンを押すにも不安。英語ボタン名だと操作を敬遠。
  - 直前に見ていた画面に戻る操作で戸惑う。  
(例:「戻る」ボタン、「閉じる」ボタン)

# 皆さんへのお願い



- まずは、J-WASを使って自社サイトを点検
- アクセシビリティが実現できたら、ぜひ申告を！

「みんなのウェブ」  
<http://www.jwas.gr.jp/>

ここからJ-WASが  
利用できます。

みんなのウェブ  
~ウェブアクセシビリティ実証実験ホームページ~

wwwは、高齢者や障害を持つ人たちにとっても大切な情報源になっています。私たちは、年齢や障害の有無に関わらず、誰にでも使いやすく、伝えたい情報がきちんと伝わるウェブを作る実験を進めています。  
この実験は、ウェブページを作ったり、利用している人なら、誰でも参加することができます。誰にでも使いやすいウェブを実現するために、ぜひあなたも[実験にご参加](#)ください。

**ウェブアクセシビリティとは**  
「誰でも使いやすいウェブ」  
についての説明です

**実証実験のご紹介**  
この実験の目的や概要を  
紹介します

**活動報告**  
実験協力地域での  
取り組み状況を紹介します

**J-WASを利用する**  
J-WASを利用する方法  
についての説明です

**アクセシブルサイトの紹介と申告**  
アクセシブルサイト一覧と  
申告書のダウンロード

**実験ニュース・お知らせ**  
[更新日:2002年1月9日]

- サーバメンテナンスのため、1月28日(月)午前3時~午前6時までの間、「みんなのウェブ」および「J-WAS(ウェブヘルパー)」のご利用ができなくなります。あらかじめご了承ください。
- J-WASの公開期間を、2002年3月末まで延長します。当初計画では、2001年12月末日まででしたが、みなさまのご要望もあり延長することにしました。
- 2002年1月17日に、[ウェブアクセシビリティセミナー](#)を開催します。定員に達しましたので申込受付は締め切りました。
- 「みんなのウェブ」をリニューアルしました。アクセシビリティのより高い構成に変更しました。

ドキュメント:完了。



# J-WASはどこまで役立つか

- J-WASを使えばすべてOKというわけではない。

- 自社サイト、ページの問題点が具体的に分かる。  
⇒ アクセシビリティを検討する最初の手がかり
- 基本レベルの問題については簡単に修正可能。

自分の姿を知る、応急処置を行う、ために有効なツール。

- 高いレベルの点検には、それなりの知識が必要。
- J-WASが行うのは「機械的な点検」。  
⇒ サイト利用者の意見を聞くことが必要。  
⇒ 「創造的なアクセシビリティ」への展開

# 今後の課題と取り組みの展開



- J-WASの機能、インターフェイスの改善
- 高齢者が使いやすいウェブの要件の整理
- 言語・聴覚・肢体不自由者等にとってのアクセシビリティの調査研究
- 人気サイト、生活情報サイト、大企業等への働きかけ
- ウェブクリエイターへの働きかけ